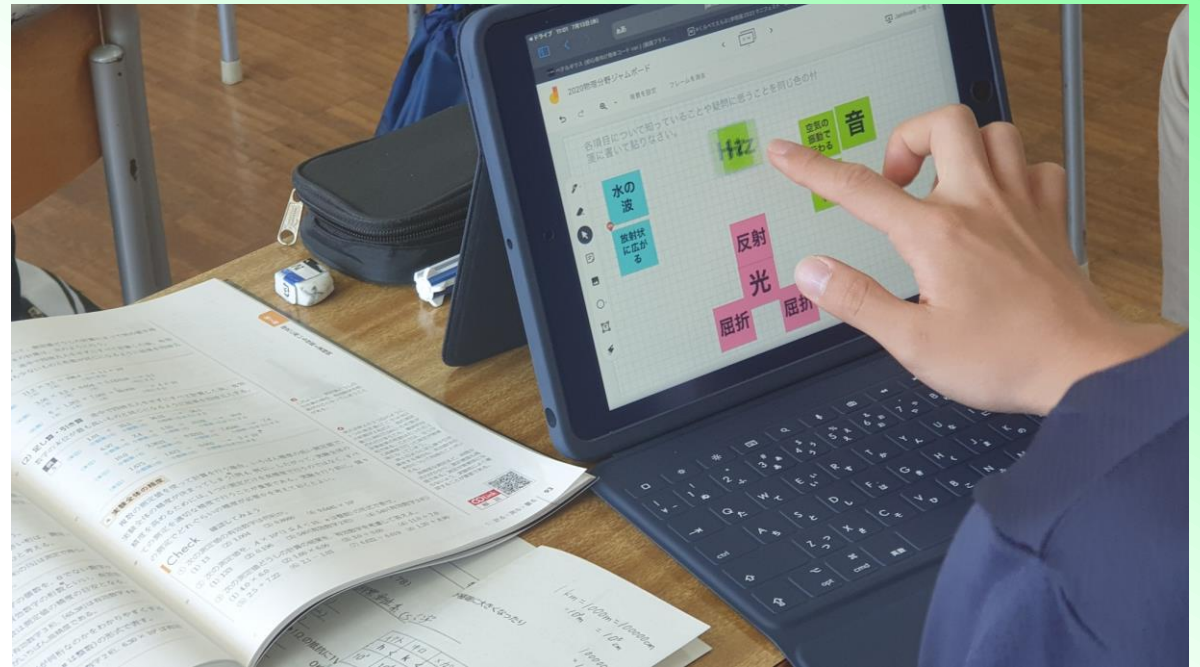


理数科の特徴①

大学進学を目指す
学びの集団。

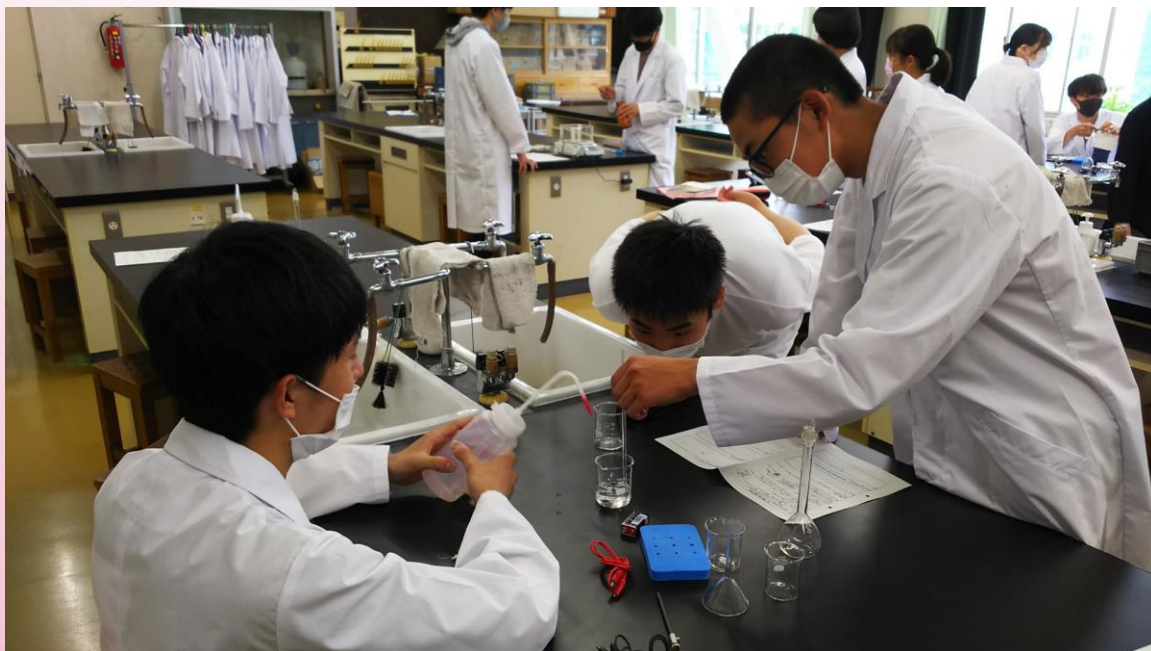


理系と文系両方に合わ
せたカリキュラム



理数科の特徴②

探究的な学びを実現



文武両道により充実した
高校生活

理数科

3年間の授業時間数

- ・四年制大学進学希望者を中心とした授業展開
- ・他の学科と比べて単位数を多く設定し、年17回の土曜授業を実施しています。

	国語	地歴	公民	保健 体育	芸術	外国語	家庭	情報	理数	数学	理科	合計
1年	5	4		4	2	5	2		1	6	3	32
2年(文系)	4	2	2	3		6			2	5	6	32
2年(理系)	4	2	2	3		6		2	2	5	6	32
3年(文系)	4~6	4~6	0~2	2		6~8				6	4	32
3年(理系)	4~6	2	0~2	2		6~8				6~8	10	32

理数探究基礎

理数探究

2年生から文系または理系を選択します。
単位数は同じでも、科目や内容が異なります。(数字は単位数)

理数探究基礎、理数探究とは？

理数探究基礎は1年次で学ぶ。探究の手法や理数分野の基礎など

1年次の最後にはグループを作り、研究テーマを決める。

2年次からテーマに沿って研究を行う。文化祭ではポスター発表。

中間発表（11月）、本発表（1月）。県予選会にも参加できる。

学力とともに探究心を向上させ、人として大きく成長できる。

先輩に質問してみましよう!!

Q1 文系への大学進学を希望していますが、数学がついていけるか不安なのですが?

Q2 数学や理科ばかりの授業ですか?

Q3 勉強は厳しいですか?

Q4 クラブ活動はできますか?

Q5 木曽青峰高校の好きな所は? 好きな授業は何ですか?



理数科の行事

- 7月 文化祭におけるテーマ発表
- 8月 星の教室<東京大学木曾観測所天文台>
- 9～10月 総合教育センター実習
<ドローン・電子顕微鏡ほか>
- 11月 中間発表会
高大連携 出前講座 信州大学
- 12月 県総合文祭（県予選会）
- 3月 信州サイエンスミーティング



先輩の研究成果について

【令和2年度 全国総文祭へ】

物理分野 “階段上でのドミノの運動” （自然科学同好会）

【令和3年度 全国総文祭へ】

地学分野 “木曾で観測される名古屋の光の星空への影響”
（天文部）

【本年度の課題研究テーマ（キーワード）】

水蒸気の反磁性 御嶽山の噴火 プールの微生物
陸上種目別関連 幾何学模様 AIの機械学習 憲法の改正
高校生の言語実態 外国の教科書比較 色とパフォーマンス向上

理数科の生徒は多くの分野で活躍

生徒会

＜対面式の様子＞



文化祭

＜前夜祭＞



大学進学実績について

意外と知られていない青峰理数科のすごさ

3人に1人は合格

国公立大学合格者数		クラスの数に対する合格者の割合 ()はクラスの数
H29年度	14	34.1% (41)
H30年度	10	31.2% (32)
R1年度	7	19.4% (36)
R2年度	18	47.4% (38)
R3年度	8	32.0% (25)
周辺の進学校は25%程度		平均 32.8%

青峰生の様子

- ・1・2年生は補習と部活動に一生懸命取り組んでいます
- ・3年生は、これまでの経験や学んだことを活かして、自分の進路実現に向けて日々勉学に励んでいます

3年生が目指している大学は？

大阪大学、東京農工大学、筑波大学、
名古屋工業大学、信州大学、
京都府立大学、新潟大学、広島大学 など



最後に

- ・勉強ばかりではない
- ・多くの経験から学ぶ
- ・コミュニケーション能力の向上
- ・最大限の努力
- ・伸びしろは大きい



➔ さらに磨きをかけた新しい自分をつくりだす

理数科で大きく成長できる君たちを待っています